

## 第 2 章 背景

## 第 2 章 背景

### 2.1 メコンデルタの開発の概要

#### 2.1.1 地域開発の一般概況

調査地域の含まれるメコンデルタは 12 の省にわたる総面積 39,600 k m<sup>2</sup>の地域で 1998 年の総人口は約 16 百万人である。これは国土総面積の 12%、全国人口の 22.6%を占めている。メコンデルタの産業構造は、農業（林、水産を含む）のシェアが相対的に高いのが特徴である。全国の GDP に占める農業のシェアは 1994 年時点で 28.7%であるのに対し、メコンデルタのそれは 47.6%となっており、一方、工業は 19.9%と低位にあり、サービス部門は 31.3%である。

GDP の伸び率は、1990-94 年で 8.3%と、全国平均および紅河デルタを上回っている。この期間のセクター別伸び率では、農業 5.8%、工業 10.5%、サービス業 12.1%となっている。農業の GDP に占めるシェアが高いことから、農業セクターの高い成長率が地域経済の発展に寄与するところが大きいことが窺われる。恵まれた自然環境から、メコンデルタの農業生産は全国に占める割合が高く、とくに米の生産量の 53%以上を占めている。

GDP に占める農業のシェアは、他の地域と同様に、徐々に低下し、工業、サービス業のシェアが拡大しつつあるが、80%を超える人口が農村に居住し、その所得を農業および農業関連産業に依存していることから、農業は引き続き重要な産業である。

#### 2.1.2 地域の開発にかかる諸計画

メコンデルタの国家開発上の重要性に鑑み、1996 年に「メコンデルタ社会開発計画-2010 年に向けて」が策定されている。このマスタープランは、地域の自然環境および人的資源につき分析し、開発のポテンシャルと制約要因を明らかにするとともに、2010 年に向けての開発目標を設定し、各セクターを網羅した総合的な開発計画として策定されている。

この開発目標は、一人当たり GDP を 2000 年においては基準年(1994)の 1.5 倍に、また 2010 年には 2.63 倍に引き上げるものとしており 2000 年には 4,120 千 VND、2010 年には 9,702 千 VND となる。このため、投資額の拡大は年率 11.6-15.5%の増加とし、また、輸出額は 18%の伸びを見込んでいる。経済開発とならんで、貧困の撲滅、教育・医療の改善、全家庭への電力、生活用水供給等が重要な開発目標として設定されている。

この目標を達成するため、1995-2000 年および 2000-2010 年の 2 期にわけ、2 つのシナリオが設定されている。各期における GDP 伸び率について見ると以下のとおりとなっている。

(1995-2000)

	シナリオ-1	シナリオ-2
GDP 伸び率 (%・年)	7.7 (77)	9.1 (83)

1994 年対比	1.4 倍	1.5 倍
(2000-2010)		
	シナリオ-1	シナリオ-2
GDP 伸び率 (%・年)	9.0 (73)	10.8 (88)
1994 年対比	2.78 倍	3.54 倍

(括弧内の数値は全国 100 とした場合)

また、GDP のセクター別構成は同計画では次のとおりである。(%)

	1994	2000		2010	
		シナリオ-1	シナリオ-2	シナリオ-1	シナリオ-2
農業	47.6	41.9	38.8	27.0	21.2
工業	16.1	18.8	20.0	22.7	26.3
建設業	3.8	4.4	5.1	8.0	7.8
サービス業	32.5	33.9	36.1	42.3	44.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

上記の両シナリオとも、農業のシェアの相対的低下と、非農業部門の拡大が予測されている。農業セクターの開発においては農業の多角化が強調されており、とくに畜産、果樹、工芸作物の拡大が重視されている。しかし、米は依然最も重要な作物であり、2010 年にはその生産目標は全国総生産の 55%を占める 18 百万トンとされている。

1998 年に「メコン河流域洪水制御マスタープラン」(Flood Control Planning for Inundation Areas in the Mekong River Delta) が農業・農村開発省により策定され、1999 年に政府で承認されている。この計画は、メコンデルタ北部の湛水地域約 190 万 ha を対象とするもので、8 省 (Long An, Tien Giang, Ben Tre, Dong Thap, Vinh Long, Can Tho, An Giang, Kien Giang) に亘っている。この計画は対象地域の社会・経済開発の観点から洪水防御の方策を提案しており、対象地域を 4 つの地域に分けて検討している。本調査の対象地域約 29 万 ha はこのうちの (Plain of Reeds) に含まれている。

その他の地域の関連計画としては、「メコンデルタ高品質米生産振興計画」が農業・農村開発省により策定されている。地域の最大の産品である米の品質の向上を図るための総合的な対策を講じ、市場における競争力を高めることをねらいとしている。

## 2.2 ドンタップ、テンジャン両省の一般概況

調査地域はドンタップ、テンジャンの両省にまたがっており、メコンデルタの上記 Plain of Reeds に所在する。地域は一般に閉鎖された低地にあり、その大部分が毎年 8 月から 11 月にかけてカンボジアおよび Tien 河からの洪水により湛水する。したがって、農業は圧倒的に稲作が主体で、一部の地域に果樹等が栽培されるのみである。1998 年のメコンデルタの米 (籾) 生産量の 21.2%がこの 2 省で生産されている。これは全国総生産量の 11.2%に相当する。

両省の基本指標は下記のとおりである。

ドンタップ省、テンジャン省の GDP

	ドンタップ省		テンジャン省	
	額	%	額	%
1997年GDP総額 (10億ドン)	4,187	100.0	5,450	100.0
農業	2,787	66.6	3,367	61.8
工業	443	10.6	607	11.1
サービス	957	22.9	1475	27.1

各省の農業統計 1997

	ドンタップ省	テンジャン省
農家戸数 (1000戸)	206.0	227.0
農業人口 (1000人)	1,194.0	1,140.0
農地面積 (1000ha)	228.8	181.0
一年生作物面積 (1000ha)	207.6	116.7
水田面積 (1000ha)	203.8	105.6
農業生産量 (10億VND)	3,152.9	4,844.6
米 (粳) 生産量 (1000トン)	1,930.0	1,319.6

### 2.2.1 ドンタップ省

総面積 3,227km<sup>2</sup>、総人口は 1,532,552 人 (1997 年) である。本格的な水路 (運河) の開発は南北統一後であり、したがって、同省はメコンデルタの中でも比較的開発の歴史が浅い地域である。水路の建設とこれに続くダイクの整備により米の生産は飛躍的に拡大してきた。例えば、米 (粳) 生産量は 1985 年の 648 千トンから 1998 年には 1,940 千トンに達している。この間の耕地面積の拡大は比較的緩やかであったので、生産量の増加は、単位収量と、2 期作、3 期作の増加によるものである。

GDP のセクター別構成では、農業が 66%(1998)と著しく高いシェアを占め、工業とサービスセクターはそれぞれ 11%、23%となっている。総労働力人口 73 万人のうち、62 万人、すなわち約 85%が農業に就業している。農業では米が圧倒的なシェアを占めるが、近年、畜産、果樹等が徐々に増加している。内水面漁業 (養殖を含む) も伝統的に行われている。

工業部門はそのほとんどが小規模な食品加工産業で、近年の伸びは緩慢である。

米の生産量を人口一人当たりで見ると 1997 年で 1,259kg とメコンデルタの中でも最も高い水準にあり、これも、米が同省の重要作物であることを物語っている。

1996 年に「ドンタップ省社会経済開発計画-2010 年に向けて」が省人民委員会により策定されている。この計画は、各セクターの社会経済的分析を行うとともに、今後の開発のポテンシャルと制約要因を明らかにしつつ、開発目標を設定し、その達成に向けてのプロジェクトやプログラムを計画している。同計画は GDP における工業セクターのシェアの拡大を目指しており、基準年(1995)の同セクターのシェア 8.78%を 2010 年には 27.55%としている。農業

部門のシェアは、これと対照的に 71.58%から 35.27%に低下するものとされている。農業については、農地面積はほぼ現在レベルとし、現状の水稲モノカルチュアから、畜産・果樹を含む多様化を志向している。

計画における一人当たり GDP は 1994 年の 2,418 千 VND から、2010 年には 8,268 千 VND を目標として設定されている。

### 2.2.2 テンジャン省

省の総面積は 2,326km<sup>2</sup> で、1998 年の総人口は 1,769,257 人である。ホーチミン市へのアクセスにも比較的恵まれ、ドンタップ省に比し開発の歴史はやや古い。GDP のセクター別構成では、農業 62%、工業 11%、サービス・セクター 26%となっている。

ドンタップ省に較べ農業のシェアは低いものの、依然農業が基幹産業である。農業部門では米のシェアが高いが、ドンタップ省に比しその相対的シェアは低下している。これは、テンジャン省においては畜産・果樹・水産等のシェアが拡大し、農業の多角化が進んでいることを物語っている。

1995 年に「テンジャン省社会経済開発計画 1995-2010」が省人民委員会により策定されている。この計画では工業部門の GDP シェアは 1995 年の 15.79%から 2010 年には 35.63%に拡大し、農業部門は 61.88%から 47.44%に低下するものと見込まれている。農業では、米の生産の漸減と一層の農業多角化が指向されており、果樹、野菜、畜産の拡大が見込まれている。計画における一人当たり GDP は、1995 年の 2,643 千 VND から、2010 年には 8,887 千 VND とされている。

上記の諸計画は、その多くが 1994-5 年というヴェトナム経済の高度成長期に策定された点に留意する必要がある。1997 年に発生したアジアの通貨危機は、とくに海外からの直接投資の減少、輸出市場での競争力の減退等、ヴェトナム経済にも深刻な影響をもたらしている。したがって、これら計画の目標達成には著しい困難がともなうことが想定される。